

辛亥革命以前までの日清・日朝関係とその ダイナミズムを生々しく伝える第一級史料

藤田佳久

日清戦争で日本が大国であった清国に勝利すると、それまで欧米中心に指向していた政府や民間人の眼が中国（清国）を中心にしたアジアへも向けられるようになった。そのような中で誕生した東亜会と同文会は一八九八（明治三十一年）年に合併して東亜同文会を組織、同文会のリーダーであった近衛篤磨が会長になり、さらに二年後には亜細亜協会も合流した。東亜同文会の成立により、それまでの同文会の機関紙『時論』は『東亜時論』と改題、さらに『東亜同文会第〇回報告』と改称され、一九一〇（明治四十三年）年六月まで一三二回分が刊行された。編集と刊行は東京にあった東亜同文会で、概ね毎月一回の刊であった（明治四十三年は二回）。

内容は、同会の清、朝鮮を中心とした教育文化の交流と事業の進捗状況やそれらの地域の時事情報収集の目的に沿うものである。すなわち、会の運営経過のほか、上海、天津、南京、福州、広東、漢口、京城、平壤、ウラジオストク等、各地の通信員による生き生きとした記事がその時代の動きを正直に伝え、それに各地の視察団など雑録がバックデータを添えている点に特色がある。

刊行時期は辛亥革命直前までであり、同会の多彩な学校経営と清末期の清国と朝鮮及び日清関係のダイナミズムを伝える貴重な資料である。

（愛知大学名誉教授・前愛知大学東亜同文書院大学記念センター長・現同センター運営委員）

1898年、これまで別々に活動していた「東亜会」（1897年設立）と、「同文会」（1898年設立）が合併し、その他の幾つかの団体を吸収して設立した。以後、1946年（昭和21年）まで活動した民間外交団体及びアジア主義団体である。上海に設立された東亜同文書院の経営母体でもあり、現在の霞山会の前身である。

創立時の会長は貴族院議長であった近衛篤磨。主な関係者として、犬養毅、池辺三山、内田良平、江藤新作、大石正巳、小川平吉、柏原文太郎、岸田吟香、陸羯南、小村欣一、笹森儀助、志賀重昂、副島種臣、竹越与三郎、谷干城、内藤湖南、福本日南、宮崎滔天、渡辺洪基らが上げられる。



近衛篤磨（弊社刊『DVD版日本名家肖像事典』より転載）

【『東亜同文会報告』の変遷】

1892（明治25）年4月、近衛篤磨が主催する精神社の機関紙として『精神』創刊。→ 改題 → 『明治評論』→ 改題 → 『中外持論』→ 改題 → 『時論』→ 改題 → 『東亜時論』→ 1898年4月、他誌と合併 → 『東亜同文会報告』創刊。以後、毎月1回刊行、辛亥革命直前の1910年6月廃刊まで全132冊を数える。なお、本誌の「第1回～第4回」は発行が確認されていない。

會報

◎福建近況
◎雜錄
◎西藏使節の露國行
◎露西亞と日本
◎時報

中西重太郎君講話

◎ 新 錄

○西嘉使館の露國行

時報

輸出禁止 ○滿州の撤兵 何の日ぞ ○
佛國の對韓 經營益進む ○韓國に於
ける露國 ○露清陸上貿易 ○支那貿
易に於ける 英獨協商 ○濟州島事件
後聞 ○日清銀行 ○日清俱樂部 ○平
國人の本會に對する批評

會報

○幹事會
協議したり

八月三日、十二日、二十日當事務所に於て幹事會を開き城津學堂其他五六の件に付き

○近衛公爵の一行

十八日天津に着し二十一日北京に入り、二十三日
 經て營口に到り營口より路を轉して大連旅順の經營を視察して芝罘を發して八月十五
 日仁川に着し翌日京城に入りたとの報あり、尙公の一行は京城に川に數日を費し歸途浦馬山浦鎮海
 濟徐山等に立寄り來月上旬歸京せらるゝ、

本書の東京同文書院を上海に開設せしは一時的の

○南京同文書院の改稱及章程改正

處にして北清の平和克復の期を待て、南京に待たせしより、今般同書院を現在地として殊に日本學生養成地としては南京よりは却面上海の適當なるを察せしより、般同書院の組織及維持方等を益のまゝ永く同地に置くことゝなし其名稱を東亞同文書院と改稱せり、

本文見本

約65%に縮小

(上) 第22回

(下) 第132回

● 本會事業報告

第五、日本各報社に會同於て編輯部ヲ設ケル
 諸君、皇カ秋季大會以後に於テマスル本事業ノ概況ヲ
 報告申セマス、先ノ偶ニ旅リマシテ、内國ト支那トニ大
 同ノ國ニ於キマシテ東京ノ諸報社ニ申セマスル、本部於
 マスル抵蹙ノ事業ニ對シテ、是ハ一東亞關係ヲ維持約
 テスル點ニ在リ、若クハシテ居リマス、其他各種ノ原稿ハ出
 テスル點ニ在リ、若クハシテ居リマス、其種々來テマシマシテ、目下
 世界ノ情勢ハ益ミシテシテ、出版致シタルハ適當セズ時期
 出版界ノ大ハリノモ、シテ出版致シタルハ適當セズ時期
 充テテ注シテ積リテ居リマス、會報ハ此ノ間來秋季大
 會ノ時ニ完成セ得シガ通り、毎月二回ツ、發行スルコト
 致シマス、斯ク云フヤウイフ會シテ、一月二回ニ
 ツ、會報ヲ發行スル會ハ、恐ラカハ他ニハポイント存ジカラ
 ス、サウ云フヤウイフ注リ加ヘテ居ル會報デゴザイマスカラ、
 更ニ充テ方々ニ注リ加ヘテ居ル會報ヲ御參考ニ供シタ見
 出セテ居リマス、サウ云フヤウイフ次第、出版ノ方ハ暫ク見
 セテ居リマス、ソレカラ經濟調査部、ゴザイマスルガ、是

報

修リマス。ソレで斯クエゴトヲハ、大ニ喜ブベキ事ナリ。
 所收會ノ目的ニ對シテハ、大ニ喜ブベキ事ナリ。
 府リマス。ソレカラ東京同文書院ノ事業ニ就キマシタハ、
 學ニ政ニ留學生ノ數ガ減リテ次第テゴザイマス。ルカ、ア
 入學ガ増ヘテ致シセシガ、幾分可ク増ヘテ、
 ス、他ノ普通學ノ學校ハ惡ク閉鎖スルニ拘ラズ。東京同文
 府リマス。生進ニ致ガリテ入學致シタル者著四
 百二十人、其内本學期ニマシタル入學致シタル者著四
 十三人、ソレカラ四月卒業致シタル專門學校ニ入ル目的ヲ以テ、
 是ハ何レモ高等學校キマルガ、
 折角試學受ケルコト、頗ル良好ナル結果ニ得リマス。ソレ
 ヲテ中學部ノ日本學生ノ方ニシテ、
 者ガ七十八人、合テ百六十六人ヲザリマス。是モ頗ル成績
 宜シクゴザイマシテ、昨年ノ秋文部省ノ認定ヲ得タル以
 年、部長始メ諸教授ガ頗ル勵精致シテ、
 他ノ中學ニ比ベテ、
 又文部省ノ附近ノ田舎カラ出テ來ルコト、遠近所ハ三里位遠
 方カラ夜中カラ起キテ通フヤウニコトヲシテ居リマシテ、極

品名	単位	数量	単価	小計	備考
紅毛泥	袋	100	425	42,500	
紅毛泥	袋	50	53	2,650	
紅毛泥	袋	30	73	2,190	
紅毛泥	袋	20	83	1,660	
紅毛泥	袋	10	93	930	
紅毛泥	袋	5	103	515	
紅毛泥	袋	2	113	226	
紅毛泥	袋	1	123	123	
紅毛泥	袋	0.5	133	66.5	
紅毛泥	袋	0.2	143	28.6	
紅毛泥	袋	0.1	153	15.3	
紅毛泥	袋	0.05	163	8.15	
紅毛泥	袋	0.02	173	3.46	
紅毛泥	袋	0.01	183	1.83	
紅毛泥	袋	0.005	193	0.965	
紅毛泥	袋	0.002	203	0.406	
紅毛泥	袋	0.001	213	0.213	
紅毛泥	袋	0.0005	223	0.1115	
紅毛泥	袋	0.0002	233	0.0466	
紅毛泥	袋	0.0001	243	0.0243	
紅毛泥	袋	0.00005	253	0.01265	
紅毛泥	袋	0.00002	263	0.00526	
紅毛泥	袋	0.00001	273	0.00273	
紅毛泥	袋	0.000005	283	0.001415	
紅毛泥	袋	0.000002	293	0.000586	
紅毛泥	袋	0.000001	303	0.000303	
紅毛泥	袋	0.0000005	313	0.0001515	
紅毛泥	袋	0.0000002	323	0.0000646	
紅毛泥	袋	0.0000001	333	0.0000333	
紅毛泥	袋	0.00000005	343	0.00001715	
紅毛泥	袋	0.00000002	353	0.00000706	
紅毛泥	袋	0.00000001	363	0.00000363	
紅毛泥	袋	0.000000005	373	0.000001815	
紅毛泥	袋	0.000000002	383	0.000000766	
紅毛泥	袋	0.000000001	393	0.000000393	
紅毛泥	袋	0.0000000005	403	0.0000002015	
紅毛泥	袋	0.0000000002	413	0.0000000826	
紅毛泥	袋	0.0000000001	423	0.0000000413	
紅毛泥	袋	0.00000000005	433	0.00000002065	
紅毛泥	袋	0.00000000002	443	0.00000000826	
紅毛泥	袋	0.00000000001	453	0.00000000413	
紅毛泥	袋	0.000000000005	463	0.000000002065	
紅毛泥	袋	0.000000000002	473	0.000000000826	
紅毛泥	袋	0.000000000001	483	0.000000000413	
紅毛泥	袋	0.0000000000005	493	0.0000000002065	
紅毛泥	袋	0.0000000000002	503	0.0000000000826	
紅毛泥	袋	0.0000000000001	513	0.0000000000413	
紅毛泥	袋	0.00000000000005	523	0.00000000002065	
紅毛泥	袋	0.00000000000002	533	0.00000000000826	
紅毛泥	袋	0.00000000000001	543	0.00000000000413	
紅毛泥	袋	0.000000000000005	553	0.000000000002065	
紅毛泥	袋	0.000000000000002	563	0.000000000000826	
紅毛泥	袋	0.000000000000001	573	0.000000000000413	
紅毛泥	袋	0.0000000000000005	583	0.0000000000002065	
紅毛泥	袋	0.0000000000000002	593	0.0000000000000826	
紅毛泥	袋	0.0000000000000001	603	0.0000000000000413	
紅毛泥	袋	0.00000000000000005	613	0.00000000000002065	
紅毛泥	袋	0.00000000000000002	623	0.00000000000000826	
紅毛泥	袋	0.00000000000000001	633	0.00000000000000413	

明治四十一年七月ヨリ四十二年六月ニ至ル
一箇年間奉天市場ニ於ケル重要輸出入商貨
及價格凡積表(奉天通信)
▲輸入

[illegible]

東亜同文会報告

全26巻

【監修・解説】藤田佳久 愛知大学名誉教授・前 愛知大学東亜同文書院大学記念センター長・現 同センター運営委員 【編集】高木宏治 陸羯南研究会

■全26巻揃定価414,750円(本体395,000円)

A5判上製 ISBN978-4-8433-3721-9 C3321

●第1回 全9巻 揃定価139,650円(本体133,000円) ISBN978-4-8433-3722-6 C3321 2011年10月刊行

東亜同文会報告 1	第5回～第8回	明治33年4月～6月	定価10,500円(本体10,000円) ISBN978-4-8433-3725-7
東亜同文会報告 2	第9回～第13回	明治33年5月～12月	定価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-3726-4
東亜同文会報告 3	第14回～第17回	明治34年1月～4月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3727-1
東亜同文会報告 4	第18回～第21回	明治34年5月～8月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3728-8
東亜同文会報告 5	第22回～第25回	明治34年9月～12月	定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3729-5
東亜同文会報告 6	第26回～第29回	明治35年1月～4月	定価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-3730-1
東亜同文会報告 7	第30回～第33回	明治35年5月～8月	定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3731-8
東亜同文会報告 8	第34回～第37回	明治35年9月～12月	定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3732-5
東亜同文会報告 9	第38回～第41回	明治36年1月～4月	定価18,900円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-3733-2

●第2回 全9巻 揃定価130,200円(本体124,000円) ISBN978-4-8433-3723-3 C3321 2012年4月刊行予定

東亜同文会報告 10	第42回～第45回	明治36年5月～8月	定価16,800円(本体16,000円) ISBN978-4-8433-3734-9
東亜同文会報告 11	第46回～第49回	明治36年9月～12月	定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3735-6
東亜同文会報告 12	第50回～第53回	明治37年1月～4月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3736-3
東亜同文会報告 13	第54回～第57回	明治35年5月～8月	定価13,650円(本体13,000円) ISBN978-4-8433-3737-0
東亜同文会報告 14	第58回～第61回	明治37年9月～12月	定価11,550円(本体11,000円) ISBN978-4-8433-3738-7
東亜同文会報告 15	第62回～第67回	明治38年1月～6月	定価12,600円(本体12,000円) ISBN978-4-8433-3739-4
東亜同文会報告 16	第68回～第73回	明治38年7月～12月	定価11,550円(本体11,000円) ISBN978-4-8433-3740-0
東亜同文会報告 17	第74回～第79回	明治39年1月～6月	定価14,700円(本体14,000円) ISBN978-4-8433-3741-7
東亜同文会報告 18	第80回～第85回	明治39年7月～12月	定価15,750円(本体15,000円) ISBN978-4-8433-3742-4

●第3回 全8巻 揃定価144,900円(本体138,000円) ISBN978-4-8433-3724-0 C3321 2012年10月刊行予定

東亜同文会報告 19	第86回～第91回	明治40年1月～6月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3743-1
東亜同文会報告 20	第92回～第97回	明治40年7月～12月	定価21,000円(本体20,000円) ISBN978-4-8433-3744-8
東亜同文会報告 21	第98回～第103回	明治41年1月～6月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3745-5
東亜同文会報告 22	第104回～第109回	明治41年7月～12月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3746-2
東亜同文会報告 23	第110回～第115回	明治42年1月～6月	定価17,850円(本体17,000円) ISBN978-4-8433-3747-9
東亜同文会報告 24	第116回～第121回	明治42年7月～12月	定価18,900円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-3748-6
東亜同文会報告 25	第122回～第127回	明治43年1月～3月	定価18,900円(本体18,000円) ISBN978-4-8433-3749-3
東亜同文会報告 26	第128回～第132回	明治43年4月～6月	定価14,700円(本体14,000円) ISBN978-4-8433-3750-9

関連
企画

東亜時論 全3巻

●揃定価63,000円(本体60,000円)

【監修】有山輝雄【解説】加藤祐三【編集】高木宏治 日清戦後の中国をめぐる日本の方策一。民間人、ジャーナリスト、学者等々の多様な論説や考察を掲載した東亜同文会の機関誌を復刻。同会は、20世紀前半、中国を中心とした、日本とアジアとの交流・政策の一翼を担った民間団体で、その設立直後の一年間に発行された全26号(全26冊 1898年12月～1899年12月)を収録。

ゆまに
書房
YUMANI
SHOBUN

〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL.03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
http://www.yumani.co.jp/
e-mail: eigyou@yumani.co.jp

● 特におすすしたい方 日本近代史、アジア史、植民地史研究者ほか研究機関、大学図書館・公共図書館など。

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		取扱店	※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。
	東亜同文会報告 全26巻			
	☐ 第1回配本・全9巻 ☐ 第2回配本・全9巻 ☐ 第3回配本・全8巻			
	セツト			
お名前				
ご住所				
	TEL	()		11.09/01.7000.H